



国際緊急援助隊救助チーム I E R 受検 「Heavy」級評価再認定

参事官

1 I E R の概要

平成27年3月2日（月）から5日（木）の間、J I C A 関西及び兵庫県広域防災センターにおいて、国際消防救助隊を含む国際緊急援助隊救助チームが I E R (IN SARAG External Reclassification : 国際搜索救助諮問グループ外部評価再分類) を受検しました。

I E R とは、5年前に国際緊急援助隊救助チームが受検して「Heavy」級評価を受けている I E C (IN SARAG External Classification) 認定の再受検であり、前回同様「Heavy」級の評価認定を目指しました。

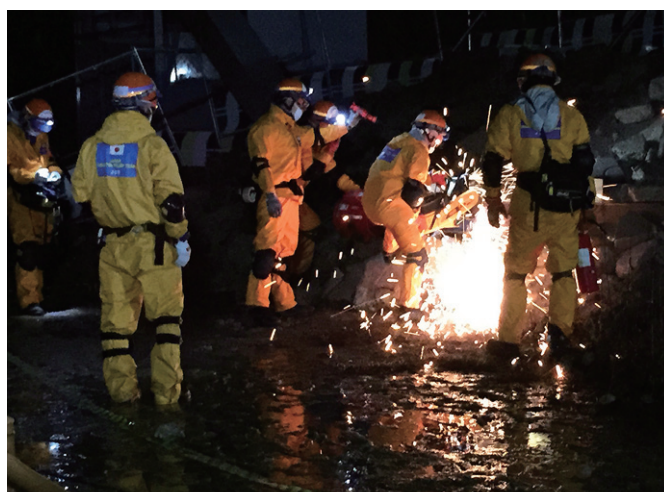
I E C 認定は、被災地において各国救助チームを活動能力に応じた適切な活動現場に割り当てるための指標として活用されており、要救助者救出の可能性が高い重要な現場には「Heavy」チームが割り当てられます。世界

で28の救助チーム（平成27年2月現在）が「Heavy」級認定を受けており、今後も増加する見通しです。したがって、日本チームが期待される役割を着実に果たすためには、「Heavy」級を保持し続ける必要があります。

評価方法は、IN SARAG から派遣された評価員（6人）が、受検チームが行う派遣シミュレーション訓練（36時間以上の連続した訓練）を考査し、I E C チェックリストにある136項目について評価するものです。



チェック項目：200mmの鉄筋コンクリートを横方向に貫通



チェック項目：構造用鋼（H鋼）を切断



2 内容及び結果について

3月2日に評価員への派遣体制に関する事前説明と、3月3日午前9時から5日午前3時過ぎまでの約42時間に及ぶ派遣シミュレーションを実施。実際の派遣と同様に仮想成田国際空港（JICA関西）集結から出国、被災国（兵庫県広域防災センター）到着、宿営地の設営、

捜索・救助活動などを行いました。隊員はINSARAGガイドラインに沿った活動を行い、評価員から高い評価を受け、5日の夕方には無事に「Heavy」級評価の再認定を受けることができました。



記念写真：「Heavy」級評価認定セレモニー

3 おわりに

I E R受検を契機に国際消防救助隊を含む国際緊急援助隊救助チームは更なる派遣体制の強化を目指しており、消防庁としてもさらに強固な国際消防救助隊体制を確立すべく事業を推進してまいります。各登録消防本部においても、所属や地域での訓練を十分に行っていただ

き、国際派遣及び国内災害対応の強化に努められますことを期待します。



下方向の空隙からの救出



横方向の空隙からの救出

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部 参事官付 柳原
TEL: 03-5253-7507